



広報  
Public relations  
NEBA

# ねば

# 1

2025 Jan.  
Vol.226



- P 2-3 年頭ご挨拶／他
- P 4-9 議会だより／他
- P 10-12 令和7年申告相談のご案内／他
- P 13 eLTAXについて
- P 14 司法書士による相続・登記等  
無料法律相談のお知らせ／他
- P 15-16 多剤・重複服薬を見直そう／他
- P 17 「医療費通知」のお知らせについて／他
- P 18 杉っ子だより

## 【今月の表紙】

1月5日に根羽村消防団市中  
パレードが行われました。

【詳細は9ページ】



# 年頭ご挨拶



根羽村長

大久保 憲一

新年あけましておめでとうございます。令和七年の新春を迎え、村民の皆様のご健勝を心からお慶び申し上げます。

昨年の夏は根羽村でも連日三十度を超える日が続き、まさに地球温暖化の影響を強く感じた年でありました。また気候変動による自然災害の多発化・激甚化が顕著となっており、幸いにも当村では大きな自然災害等の発生はありませんが、災害は「いつ」「どこで」発生してもおかしくありません。日頃から、自分達の住む地域の危険な場所や避難場所等を確認して頂き、いざという時に備えて頂きたいと思います。

さて、昨年も当村にとって嬉しい出来事がいくつもありました。長野朝日放送主催の「ふるさとCM大賞」で最高賞のCM大賞を受賞すること

しました。こうした嬉しい出来事を、村民の皆さんとともに喜び合いたいと思います。

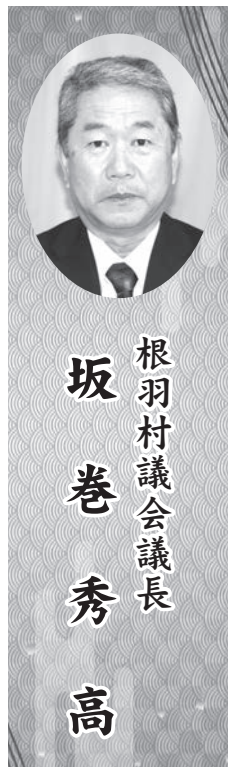
さて、ここで根羽村の昨年を振り返って見たいと思います。導入から三十数年を経過した防災行政無線のデジタル化への更新については一昨年からの工事に入っており、屋外スピーカー二十三カ所、個別受信機、河川監視カメラ、雨量計等の整備を含めて三月に事業が完了します。また「シチズン時計(株)」、「矢作建設工業(株)」さんと、森林整備や村づくりへの取り組みなど、多様な主体との連携が進みました。また、今年から新規に県と共同して「輝く農山村地域創造プロジェクト事業」が始まりました。この事業は地域資源に磨きをかけ新たな事業を創出して行く取り組みです。また、空家の活用について、町中の旧旅館を活用して情報発信や気軽に立ち寄れる場所として「シラネバ」がオープンしました。このように多くの積極的な取り組みができたことを大変うれしく思います。

さて、これからの村づくりの方向を示す「第六次根羽村総合計画」の策定を進めています。ベースとして、村民の皆さんからお聞きしたこれらの村のありたい姿をまとめ

た「ネバーギブアップ宣言2・0」がこれらの考え方の基本となっています。「一人一人が互いを尊重し、助け合い、共に生きる関係づくり」を前提として、「自然や人とのつながりの中に、根羽村らしい豊かさを見つけ、居心地の良さを感じられる村」、「どこにいても根羽村と心がつながり、根羽村での暮らしがイメージできる情報発信」をしていきます。そして「暮らし」、「仕事」、「挑戦」、「教育」、「交流」の五つのキーワードのもと「つながりあふれる根羽村」、「根羽村で人生百年時代をより健やかに」、「活かし合い、イキイキと働く根羽村」、「挑戦と応援が掛け合える根羽村」、「根羽村に暮らす、皆で学ぶ」、「知りたいとやりたいを知り合える根羽村」の六つの目標を掲げて村づくりに取り組んで行きたいと思っています。具体的には「一人一人が地域と関わり、多様なコミュニティの関わりを深めていくこと」、「大人も子どもも様々な経験を重ね、学び続けることで自分自身や村に誇りを持つこと」、「お互いの立場を活かし合いながらこれらの新しい仕事を生み出していくこと」、「お互いのつながりを深め、地域社会を支え安心して暮らすこと」、「村内で

の横のつながりを深め、情報や人、様々な機会に出会えるネットワークがあること」、「やってみたいことや応援をしたいことが広がる村となること」など、具体的にめざすべき方向の実現に向けて取り組んで行きたいと思っています。リニア中央新幹線工事の開業が大きく遅れる中で、県内でも天竜川橋梁の橋台が完成する等工事の進捗が目に見えるようになってきました。三遠南信自動車道も着々と工事が進んでおり、南信州に新たな交通環境の時代が訪れようとしています。根羽村では地域資源により磨きをかけて「村民の皆さんが生き生きと暮らしている村」そして「誰もが訪れてみたい村・住んでみたい村」として広くアピールして行きたいと思っています。結びに令和七年が根羽村にとりまして、そして村民の皆さんにとりまして幸多き年となることを心からお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願致します。





根羽村議会議長  
坂巻秀高

新年あけましておめでとう  
ございます。

皆様一家団欒のお正月をお  
迎えてでしょうか。

昨年(元旦)十六時十分に起  
きた能登半島地震は三十年前  
の一九九五年一月十七日に発  
生した阪神淡路大震災を彷彿  
させ、震度七の揺れは誠に言  
葉に尽くし難い恐怖であつた  
であらうと拝察いたします。

能登半島地震では関連死を  
含め四〇〇人以上の方がお亡  
くなりになり、四万棟を超え  
る住宅被害、液状化による被  
害からの復興復旧に取り組む  
最中の九月には豪雨災害に見  
舞われ、避難先の仮設住宅に  
も被害が及ぶ中で厳寒を迎  
え、どの様な暮らしされてい  
るのか心配は尽きません。改  
めて被災者の皆様にお見舞  
いを申し上げるとともに亡く  
なれた方々のご冥福をお祈り  
申し上げます。

二〇一九年十二月に発症し  
たコロナウイルスは二〇二三  
年五月に五類に移行し日常を  
取り戻しつつ今日に至ってお

りますが、警報級となるほど  
のインフルエンザの流行等、  
感染症予防の重要性を改めて  
感じております。

一年の計は元旦にありと申  
します。昨年はとても暑い夏  
で四季を超えて二季ではな  
いと言われ寒波の訪れも早く  
きました。パリ協定では気温  
上昇を一・五℃以下とする目  
標値を定めていますが、永久  
凍土の融解進行等目標達成ま  
での道のりは険しい状況もあ  
り、人間、野生生物、生態系  
への影響が懸念されます。

二〇二二年二月二十四日開  
戦のロシア侵攻によるウクラ  
イナ戦争、民族の泥沼化した  
イスラエル、ハマスによるパ  
レスナガザ自治区での戦闘、  
シリアの内戦、いずれも終わ  
りなき戦いを一刻も終結させ  
地球規模の恒久平和を望む所  
であります。ノーベル平和賞  
の受賞された「日本被団協」  
の如く伝承と生涯学習を取り  
入れ平和を維持と伝承をして  
いかなければならないと思  
います。

昨年の漢字一文字は「金」  
でありました。パリオリ

ピックでの日本人の活躍を  
愛でるとともに、賃上げ、  
一〇三万円の壁、政務活動費  
や献金等政治に関わる事が話  
題になりました。

政治に関して申しますと昨  
年の十月の国政選挙により、  
与野党が拮抗する事態となり  
ました。国民にとつて納得で  
きる、信頼を高める国政運営  
をして頂きたい。次の国政選  
挙もその延長線上にあること  
も念頭に置かなければならな  
いと思います。

リニア新幹線は当初  
二〇二七年開業とされました  
が現在では二〇三四年以降と  
も言われ開業予定が延期と  
なっています。飯田下伊那  
管内では飯田警察署は新し

く(仮称)南信運輸免許セン  
ター二〇二七年完成を目指し  
ています。飯田警察署に隣接  
し昭和五十四年建設以来、根  
羽村の方にも利用されてきた  
飯田創造館が二〇二五年三月  
末をもって約五十年の歴史に  
幕を閉じることになり、活動  
の場が旧地場産業センターへ  
の移転が決まりました。コロ  
ナ禍における事態が地域活動  
や様々な行事を簡素化させ自  
治体たる姿が変貌しました。

村においても区長会におい  
て地区再編を問題提起されま  
した。区長会の尽力と果たす  
役割にも期待が寄せられてい  
ます。議員のなり手不足も深  
刻です、ゆめ未来地域会議を  
開催させて頂きました、議会

任期満了に伴う議員選挙は、  
令和六年の選挙となります。  
選挙区は、飯田、下伊那、  
上伊那の三選挙区に分けられ  
ています。選挙区は、飯田、  
下伊那、上伊那の三選挙区に  
分けています。

便りも評価を頂き、私個人と  
しては議会活動ではありません  
が中馬街道連絡会にも協力を  
させて頂いています。

本年は「巳年」であります、  
脱皮の年とするべく正念場で  
もあります。共に原理原則に  
回歸し努力を積み重ね、公民  
一丸となつてICTやDX化  
により学びによる自治力を高  
め、地区再編も議論されるこ  
ろですが、皆様のご協力を  
頂きより良い村づくりと議会  
運営にしたいと思つていま  
す。末筆ながら、本年が  
皆様にとって有意義な年であ  
ります様、益々のご健康、ご多  
幸を心からご祈念申し上げ年  
頭に当たつての挨拶とさせて  
頂きます。

## 令和6年 根羽村十(重)大ニュース

順位	行事・内容等
1	根羽村の未来像「ネバーギブアップ宣言2.0」完成 少子高齢化による担い手不足等が問題になるとされる2040年に向けて、村民の皆様から「20年後の夢」をテーマに村民インタビューを始め、その結果をこれからの村づくりの指針とするため「ネバーギブアップ宣言2.0」としてまとめ、公表しました。
2	ふるさとCM大賞NAGANO 大賞受賞 地域おこし協力隊隊員が、「ここは根羽村」シリーズで令和3年からCMを制作し応募。令和3年には映像賞・藤森賞、令和4年は映像賞を受賞しました。今年は「ここは根羽村～ネバーギブアップ～」として、森林の新たな活用可能性などを映像にし、最優秀賞である「ふるさとCM大賞」を受賞しました。
3	輝く農山村地域創造プロジェクト開始 地域資源を最大限生かしてオンリーワンの「輝く農山村地域」の創造を目指す長野県のプロジェク トに採択され、3年間で村の最大の地域資源で森林の新たな活用、経済性を伴った事業の創出を目指します。
4	学びの村づくりへ新たな取り組み 「やま保育」事業の一環で保育園児が収穫した野菜を自分たちで名古屋市内の大型ショッピングセン ターで販売したり、誰でも学べる教育に参加できる学びの場のある学校 づくり等を目指すとして、長野県が実施するウェルビーイング実践校「ト コン」に採択されるなど、学びの村づくり実践に向けて新たな取り組み がスタートしました。
5	木の布、リンゴレザーを使用したジャケット完成 根羽村の間伐材を原料とした木の糸と、飯綱町のリンゴの搾りかすを原料としたリンゴレ ザーを組み合わせたジャケットが完成し、4月に長野県知事に報告、ジャ ケットを寄贈しました。
6	シラネバ(旧若松旅館)オープン ネバーデイの開催 旧若松旅館の利活用を目指し、令和5年度より地域おこし協力隊の隊員が構想を ねりながら、長野県地域発元気づくり支援金を活用する等して改修を 進めてきました。空き家情報を中心に、村への移住希望者の窓口、村 民の集いの場にしたいとの思いから「シラネバ」の名称とし、10月27 日には仮オープンを兼ねネバーデイが開催されました。
7	村外各団体等との連携の進展 村ではこれまでも、環境保全等を中心 に県内外を問わず様々な事業者、団体の皆様と連携して事業を進めて きましたが、飯田東ロータリークラブの皆様による森沢での「あじさい 園」づくり、森林づくり活動推進を目的としたシチズン時計様との協定 締結、愛知県に本社を置く矢作建設工業様と協働で実施した大杉周 辺整備等、事業者、団体の方との連携による森林環境保全への取組 みが進められています。
8	村内大型事業の完成 人家を有し、国道への土石流入が懸念され る井沢(小川地区)における砂防工事が平成30年から7年をかけて 完成しました。また、転入者等を受け入れるための住宅不足を解消する ため、森沢地区で令和5年度から着手した住宅(1棟8戸)が完成、防 災行政無線デジタル化も6年度中の完成等、村の大型事業が計画的 に進められています。
9	村単独補助事業の充実 村では事業の推進等を目的に様々な分野で 補助制度を創設していますが、带状疱疹ワクチン接種への補助、自転 車用ヘルメット購入への補助、事業者の方を対象にインボイス対応レ ジ購入への補助等、新たな補助制度を創設するとともに、若者定住補 助金の補助率を引き上げる等、村の補助制度の充実を図りました。
10	消防団体験型訓練開催 消防団の活動の様子を地域の皆様に見て もらうとともに、放水、消火器の取扱い、救護等の体験をしてもら う消防団の体験型訓練が初めて開催されました。



## 一般会計補正予算等

## 16議案について審議

9月10日・12日に、12月定例会が開催されました。内容については、次のとおりです。

## 一般質問

## ◆片桐康孝議員

農業振興の対策と問題点について

●衰退する農業の現状についてどのような考えを持って  
いるか。また、耕作放棄地  
についてどのような考えを  
持っているか。

**村長** データは少し古いが、  
村内の耕作面積は約119ヘ  
クタールで、そのうち耕作放  
棄地は約55ヘクタールで、46・  
2パーセントが耕作放棄地と  
なっている。また、村内の農業  
はご承知のように兼業が主と  
なっており、従事者の高齢化  
とともに年々耕作放棄地が増  
加してきている。また、従来耕  
作放棄地となってきたところ  
は、軽トラやトラクターとい  
った農業機械が入れない農  
地が多かったが、最近では  
道路沿いの比較的条件の良い  
農地でも耕作放棄地が徐々に  
増えてきていると感じる。ご  
指摘のように、農業は食料生

**議員** 後継者がいないことも

課題の1つに挙げられるかと思  
う。村として、IUTターン者  
の中で農業に関心のある若者  
が定住できる環境を用意する  
のも1つの手段と考えた場合  
、村営住宅の増設も有効な  
手段であろうかと思う。住宅  
提供と働き場所のバランス  
は、まさに持ちつ持たれつの  
関係にあると思う。大久保村  
政からは、様々なチャレンジ  
があり、村民の評価も非常に  
高いので、もう1歩のステッ  
プアップを望むところであ  
り、今後の活躍に期待する。

●高騰が続く肥料や除草剤に  
対する助成について。

**村長** 物価高騰等に対して  
は、国の新型コロナウイルス  
感染症地方創生臨時交付金事  
業を活用して令和4年度に  
農業者への支援事業として、  
12名の方に肥料購入費の助  
成、また畜産経営支援事業と  
して飼料の購入費の助成を4  
名の方に実施した。資材費高  
騰による各方面への影響は大  
きなものがあると理解してい  
るが、村単独で恒常的に助成  
をしていくのは財政的にも非  
常に限度があり難しいのが現  
状であることをご理解いただ  
きたい。ただ、そうした中

様々な価格高騰は非常に経営  
を圧迫しますので、こうした  
補助等についてはぜひ国とし  
て政策的に取り組んでもらえ  
るよう、機会を通じて要望し  
ているが、今後もしっかりと  
それぞれの団体に様々な機  
会を通じて強く要望してい  
きたい。

**議員** 財政難ではあるが、農  
業申告者以外の生産者の方に  
も助成枠の拡大をお願いした  
い。また、農業等は農協の購買  
で商工会のプレミアム券が使  
用できるので大変助かってい  
る。現在は購入の限度額が1  
人10万円という規定だが、村  
の補助枠が拡大していること  
から、10万円枠の引き上げも  
検討されたい。

●農事組合法人の高齢化や人  
手不足に対し、村としての  
対策は何か考えられない  
か。以前は地域おこし協力  
隊配置実績もあるが今後配  
置予定は。

**村長** 農事組合法人ねばね  
は、平成24年に設立され、水田  
の受託管理、そばの栽培から  
現在ではライスセンターの管  
理などを多方面で活躍してい  
ただき根羽の農業の中心的役  
割を担っていただいている。  
また、法人としての仕事量は  
増加するものの、メンバーの

高齢化と後継者不足が課題と  
なっている。後継者対策とし  
て数年前に地域おこし協力隊  
を採用した経過があるが、当  
時は年間を通じての仕事の確  
保等の課題もあり定着できな  
かった。

後継者対策として地域おこ  
し協力隊員を活用するのは、  
非常に有効な手段だと考えて  
おり、そのためには、年間の  
仕事量の確保、3年間の任期  
満了後に法人の職員として従  
事できるような環境整備が必  
要だと考える。こうした条件  
等の整備を進めながら、法人  
の皆さんの意向を聞いて、村  
としても積極的に対応してい  
きたい。

法人の皆さんの活動は村の  
農業の振興にとつてなくては  
ならないものであり運営、機  
械等の整備などを含めて、村  
としてもこれからも積極的に  
応援していきたい。

**議員** 今後、ライスセンター  
への支援をいただけると解釈  
したい。平成6年に稼働を  
始めたライスセンターは農業  
者の駆け込み寺的な存在で長  
きにわたり活躍し現在に至っ  
ており、このライスセンター  
がなかったら水稻生産者は今  
の半分以下になっていたかもし  
れない。また、行政が管轄す



るライスセンターはこの飯伊地区では他に類を見ない。その運用する法人の皆さんも高齢化が深刻になってきており、現職員が現役でいるうちに現在のノウハウを若者に継承していくことが必要不可欠だと思ふ。ぜひとも、地域おこし協力隊、またはインターン、Uターン者でも、希望者があれば就農の機会が提供できるような仕組みをお願いしたい。

### ●農業機械に対する村の助成を考えられないか。

**村長** 農機具、農業機械の更新を機に農業を辞めたいという方がいることは重々承知している。また農業機械が高額な物になってきているが、農業機械がないと農業ができないのも現状である。そうした中で、農機具については基本的に個人の財産、資産であり、これに対して村が一律に補助するのは難しい。現在こうした補助要綱は無いが、個人ではなくて、例えば機械の共同利用をされる方、受託農地を拡大することによって農地を維持していくようなケース等、団体に対して何らかの購入に対して補助を考えていくのはこれからの手段かと思う。まだ具体的になつて

いるわけではないが、ぜひこれからいろんな意見を出していただき、農業を含めていろんな物、作業が維持できていくような支援ができるようにしていきたい。

**議員** 農業機械は高性能を売りにする反面、コストは比例して上がり、高価なものが多し。若い方であればある程度償却できると思うが、高齢者の方にはそういう選択肢はほとんどない。後継者がいなければ農業への気力も失せてしまう。こうした状況を鑑みると、頼りになるのは現時点では農業法人しかありません。村長言われたように組合的な団体、こういったものを、10年、20年先の農業を考えれば、農業法人の若い担い手を真剣に考えなければならぬのではないか。今後村の取り組みに期待する。

### ◆片桐紳一郎議員

**村営塾「げん」について**  
●教育事業の柱の一つ「公営塾」により学力の向上は見られているか。

**教育長** 今年5月に3者面談を実施し、保護者との理解を深め、通塾率がアップした。宿題を中心とした運営を行っていたが、保護者の要望と塾長

の願いもあり、学力の向上のため過去問に取り組んだり、補充教材による発展的学習を行ったりしている。学力の向上を示す具体的な指標を示すのは現実的には難しいが、例えば、塾の出席状況と学校のテスト結果とは関係係にある。塾に多く通うお子さんは、テスト結果を良いということ、塾長から聞き取っている。子供たちに外の世界を知ってもらう目的で、長野県模試を呼びかけ、主体的に参加したいという声が聞かれた。さらに、これを契機としてもっと挑戦したいという意欲が生まれ、愛知県模試も受けました。模試を受けたことで、例えば自ら進んで後30分頑張るとか、自分の位置がわかるので学習への意識が変わってきた、より大きな集団で自分の位置を知ることができるので、明確な目標ができたという声が聞かれた。希望高校の情報を得られたり、他県への選択肢も増えたりするなどの新たな刺激を受けて学習へのモチベーションアップに繋がっている。保護者、学園との連携を図りながら、適切な進路選択が進められるように配慮します。一方、なかなか塾に足が向かなかつたり、課題を

やり残したままだったりするお子さんもいるという声も聞きます。児童生徒の声を聞きながら、支援のあり方を保護者とともに模索し合意形成を図ります。変化の激しい時代にあつて、塾に期待することにも変化してきています。1人1人が能力や個性を最大限に発揮しその子らしさが実現できるように今後も努めてまいります。

### ●保護者や子供たちの声に応えるような塾の経営をしてほしいと思うがどうか。

**教育長** 児童生徒、保護者へ定期的にアンケートを取ったり、3者面談を実施したりして対話と合意形成を図り、より良い運営について改善を進めてまいります。

### ●村長は公営塾の学力向上についてどう考えるか。

**村長** 公営塾の原点としては、ただ教えることが目的ではなく子供たちが自ら学びたいと考えて自ら学べる場所であることが1番重要な部分だと思ふ。さらに目的として学力向上につながることは当然重要な部分である。また、合わせて子供たちが自ら考えて学んでいくマイプロの学習も当然必要なものだと思う。そうした中で、今までも学力向上

にかかる部分は実施してきたと思ふが、そのやり方はだんだん変わってきてるのが現状である。そうした中で、子供たちは、宿題も当然やらなくてはならない基礎的な重要な部分があるので、塾の時間に今は宿題をまず行つた後、それぞれの学習に入っていると聞いている。これは過去からもそうだと聞いている。さらに、先程の教育長の答弁にもあるが今年度2学期から新しく受験生だけではなく7、8年生にも模試を受ける機会を提供している。8月には長野県模試を5人が受験、11月には愛知県模試を7人が受けている。そうした初めての経験で子供たちの偏差値に対する考え方や勉強への意欲が変わつたという話は私も聞いており、教育長の答弁にあつた通りである。

また、公営塾は、学力を上げるのみの目的ではなく、先程言いましたように、子供たちが学びたいという原点の部分をしっかりと応援できるものでありたいと思ふし、その結果の過程でしっかりと学力を伸ばしていくことは当然重要な部分になる。そのためには、これからも、公営塾の運営方針については、教育委員



会を中心として、学校との情報交換、保護者からの意見等も参考に、お互いの合意形成を図りながら進めていくことが重要であると考えているので、引き続きそういった方針でこの公営塾が運営して行いく事を期待する。

**議員** 村長の答弁、理解できる部分はかなりありますし、それは確かに理想であるかと思いますが。学力だけではない、当然だと思えます。しかし、そもそも本来が、学力をつけたというのが本来の塾の狙いでありましたので、やはりそこをこのところをもっと中心に考えていただけるとありがたいと思います。また、先程の答弁の中にも色々ありましたけれども、塾だからこそ、しかも少ない人数なんだからこそ、それこそ1人1人に合わせた学力向上のプランを作成し、1人1人に合わせた、少なくとも数学や英語の問題集など一斉ではなく1人1人に合わせたもの、公営塾なんですから、それを作成すべきだと私は考えます。さらに、学通信村営塾模試を実施、これありますよね。私もこの件、12月1日に初めて知ったんですけれども、非常に良い取り組みであると私は感じています。ただ、これ

を見た時に、なぜ学校で、模試はこの年から学校はどう考えているんだろうか。学校の進路指導、志望校の合格判定誰だとか偏差値など、まあ現在あまりこういうことは使っていないようにすけれども、そういうことは学校では取り扱わないのだろうか。子供は初めて知ったということですが、けれども、それこそ学校の進路指導って一体なんなんですか。塾が進路指導を行うんでしょうか。学校の補佐的な内容でも進路指導なら十分理解できます。塾独自の模試ならとてもよく理解できます。なぜこれを学校ではとり扱わないのでしょうか。質問には書いてありませんでしたけれども、今の答弁を聞いてそんなことを感じましたので、教育長でも村長でも答弁できたらぜひお願いしたいと思えます。

**村長** 特に事前通告がありませんので資料は用意しております。ませんけど、それは議員さんの意見としてしっかりお聞きして、また学校の方にもお伝えして、ここでの具体的な答弁は控えさせていただきます。

**議員** 現在、学校では模試とかそういうのは特に行っていないというふうな、長野県で

はそういう声もお聞きしておりますけれども、ただ、そういう学校ではとても人数が多い学校です。校内模試、校内でのテスト、期末テスト、中間テスト、あるいは模擬試験、そういうもので人数が多いので、十分進路指導を行うことができません。しかし、根羽のような少ない人数の中で、わずか5、6人の中でそういう指導が本当にできるんだらうか。やはりそういうことも含めて、学校と塾がもっとやっぱり上手に連携して、模擬試験など塾だけに任せるのではなく、学校も関わりながらぜひ行っていてほしいなど、そのように思っております。最後に、模試の結果を子供に説明するだけではなく、保護者や学校とも情報を十分共有していただいて、子供のためにより良い指導をお願いしたいと思えます。

#### ●根羽学園総合学習のカリキュラム作成について。

**教育長** 今年度4月から、阪口先生が総合的な学習の時間のコーディネーターとして学園に勤務しています。今年度については、前任者が7月まで勤務した関係で、それを受け継ぎ進めています。

内容としては、総合的な学習の時間の大きな狙いに即し

た学習内容の担任への提案とアドバイス、関係機関との連絡調整、授業サポート等をしている。連学年での単元を仕組んでいるので、活動内容が重複することのない年度当初に全体ガイダンスと児童生徒との合意形成を行いながら、自己選択、自己決定により小グループでの探求学習を行っている。議員ご指摘の通り総合学習の段取りは本来担任が行うべきもので、学校で作成するものです。あくまでコーディネーターとする立場としての位置付けを明確にし、学園の先生方に学校長通じて指導するように致しました。児童生徒にとつて分かる、できる、もっとやりたい、を感じられたり、根羽の人、物、事との関わりを通して探求する力がさらに身に付いたりするようにしていきたい。

**議員** いわゆる信州型コミュニケーションスクールというものが行われているのかどうかよくわからないですけれども、確かそういうものがありました。その中で、総合的な学習に関するような形で、関係者に、20、30件程度あったかと思うんですけれども、そのような方が学校に会して、教員

も交えて話し合いなど行っており。そのことが全てこの教育事業の方に移ってしまったのか、その関連、どのようになっているのかなとふと疑問に思った。嫌な言い方をしますと、信州型コミュニケーションスクールでの活動は無償です、基本的に。だけど、今回の教育事業の場合は有償で計画立てている方に有償ということになってるわけですが、けれども、そこら辺のところは自分が一番解せないわけですから。村長ですかね、これは具体的には。よろしくお願いします。

**村長** 有償、無償ということではなく理解できませんが、阪口先生については、村で地域おこし協力隊とし、採用して、そのまま学校のサポートをしていただくといい形ですので、ご理解をいただきたいと思えます。内容の仕組みについては先ほどの答弁させていただいた通りで、また議員さんのご意見もしっかりとお聞きしましたので、そういった部分もこれから学校の方とも話をしながら行っていきたい。

**議員** 以前、なぜ塾がカリキュラムを作成するのかとい



う質問をさせていただいた時に、教員は転勤族である、そういう話がありました。だから塾でカリキュラムを作成するんだと。今の様子を見ておりますと、ここ数年しかないわけですけども、ほぼほぼ塾の方が転勤族であって、学校の教員の方が数年見えるわけです。また、学校の中にもそういうカリキュラムの蓄積があるかと思うわけですけども、やはりそういうことも踏まえながら、ぜひ協力し合いながら、より良い方向で、子どもたちのためにカリキュラムの作成あるいは情報提供などを行いながら、ぜひ行っているのだと思いますので、ぜひよろしく願います。

**ガーディアン72の取組について**  
●職員は箱の中身を実際に見て確認しているのか。

**総務課長** ガーディアン72については、自然災害が発生、発生する恐れがある場合に、72時間分の飲食物や衣類、生活用品等がパッケージされている仕分け不要の1人1箱の救援物資を迅速かつ円滑に供給するということを目的に、今年の1月23日に協定を締結。この物資については、企業からの支援を基に人口の10パーセントを上限に整備に供給され

るということで、今回は2社の支援により、10月24日に根羽村、平谷村、阿智村、豊根村に対して247箱の支援を受け、当村では上限である88箱の支援を受けた。この物資については消費期限の管理に加え、この協定に参加する自治体相互での支援を目的としており、全ての箱にシリアルナンバーが付けられて管理されているので、職員が今回持ってきた箱を実際に開けて中を見たということはしていません。

**議員** 非常の場合、全ての職員が中身を全て把握していることが非常に大切になるかと思いますが、ぜひ早い段階で職員が実際にものを見て理解する、把握するというところを行っていただきたい。

●救援物資の備蓄場所について。

**総務課長** 救援物資については、基本的に上町と田島の防災倉庫に備蓄するという計画にしています。現在は仮置きですが、先ほど申しました通り、この物資については他の自治体を支援するという場合もありますので、より移動させやすい場所に備蓄する事で計画している。

**議員** 他町村との連携という

ことで、移動させやすい場所、なかなか大事なところだと思いますけれども、やはり村内でも実際に災害が起こった時に村内の方への移動しやすい場所という点も含めて、上町、田島だけじゃなくていろんな道路状況等あるかと思えますので、その点も含めた検討もしていただけるといいかと思う。

●村民に箱の中身や備蓄場所、救援物資の配布基準などの周知について。

**総務課長** 村民への周知については、簡単ではありませんけれども、今月の広報に掲載した。箱の中身については、飲食物、衣類、衛生品等3日分ということでお知らせした。先ほど申し上げました通り、この物質については、根羽村で最大88個の配備であり、他の自治体への支援に送る場合もあるということ、数に限りがあるので、配布基準を作成するということは難しいと考えます。そういったことも踏まえて、現状では備蓄場所、配布基準の作成、周知についての計画はありません。

**議員** ありがとうございます。たとある議会ですけれども、こんなニュースがあったように記憶しております。上から

の指示がないので防災の備品は出すことができないと避難してきた方に言ったという記事も見受けられます。村長がいけないのでわからない、できない、上の者がいないので判断できないではなく、職員なら誰でも判断して対応できるような対応をぜひお願いしたいと思います。9月議会的一般質問の中で他の議員からも質問があったかと思いますが、村民への周知をどう図っていたかだと思いますし、それが非常に大切ではないかと思えますので、よろしくお願います。また、テレビ放送による周知も1つの手段としては有効であるかと思えますので、そのことも含めてぜひ検討していただきたい。

◆片桐清博議員

●令和7年度からスタートする新総合計画、令和7年度予算編成方針について。

**村長** 最初に、村の財政状況についてお話をさせていただきます。令和5年度の一般会計の決算額は、歳入が26億9000万円余、歳出は約25億2000万円余で歳入歳出の差引額から翌年度へ繰り越す額、繰り越す財源を控除した実質収支額は約1億500

0万円余となつて。また、地方公共団体の財政健全化法に基づく健全化判断比率、4つの指標があるが、その中で1番重要な部分を占めます実質公債費比率が4・5パーセントで、この4つの指標とも国の基準を大幅に下回っているという状況にある。また、財政構造の方ですが、依存財源が63パーセントで、内訳は地方交付税が42パーセント、国の補助金が10・6パーセント、起債が8パーセント等となっている。一方、自主財源は、村税が3・2パーセント、寄付金が14・2パーセント、繰越金が6・3パーセント等となっており、この寄付金については、ふるさと納税にかかる部分が非常に大きく、村の財源にとって大きな部分になっている。財政力指数は0・11で決して自由度のある財政構造ではないということ、元々小さな市町村でありますのでご理解をいただきたい。また、基金についても、できるだけ目的事業には積極的に活用はしますが、財政状況を見ながら積み立てをしているのが現状であり、基金残高、令和3年度末で21億7000万円余、令和4年が24億5000万円余、令和5年末で26億3000万



円余となっているのが現状です。また、これから10年間の短期的な課題として考えている物の一つとして、重要な財源となっている、ふるさと納税について、今後も新たな返礼品開発等に取り組みながら、村民の皆さんにも様々な面でしっかりと周知をしていく必要があると考えている。また、カーボンニュートラルの

用地等を含めた分譲的なものを考えることも課題である。また、防災行政無線については今年度整備されるが、情報伝達についてまだこれからいろんな形でしていく必要がある、この新しい運用についてもこれから検討が必要になると考えている。また、上下水道のインフラの維持についても、それぞれ設置から非常に年数がたっており、簡易水道については今年、計画を作っているが、いずれにしても、そのあり方、方針を含めてこれも計画的に早急に示す必要があるのは大きな課題である。

いきいたい。また、旧役場庁舎の解体や、利用頻度の少ない公共施設がいくつもあがあるが、それについての対応策の検討も課題である。

また、来年度の予算編成の方針については現在、来年度の予算編成の最中になります。これについては第6次の総合計画あるいは総合戦略に資する事業への積極的な取り組みに合わせ、従来の子育て支援、若者定住対策、教育の充実、住民福祉、高齢者の支援、障害者支援対策の充実、農業振興対策、商工観光の振興対策、生活環境基盤整備の充実、安全、安心な村づくりに関する継続事業の充実とともに、それぞれ重点事業の取り組みを進めていきたいと考えている。年内で事業の概要、概算を取りまとめて、年明けに詳細の予算査定等を行い、2月末から3月にかけて議会の皆さんとご相談申し上げ、具体的な事業が出てくると思いますので、ご意見を賜りたいと思います。また、先程あったように、大型事業であるケーブルテレビの光化事業は喫緊の課題になります。防災無線更新は一旦完了するが、ケーブルテレビの光化の事業については、来年度は補助金の補助申請の年、令和8年度に工事予定、これは大きな金額がかかると思うが、工実施の予定となっている。

た。新たにスタートする今後10年間の総合計画策定については、村民の意見、思いをしっかりと盛り込んでいただき、村民誰一人として取り残されることのない作りに取り組んでいただきたいと重ねてお願いしたい。また、単年度予算では、人口減少対策として以前お願いした若者定住対策の見直し、また、新たに育英資金の貸付型から条件付きの給付型等への見直しなどを今後お願いすることもあろうかと思う。また、里山、中山間地域が生き延びるために、今後もある提案をさせていただくと思うが、よろしく願います。

える。また、自治体のデジタルトランスフォーメーションについても、人口減少や高齢化を迎える中で様々な課題があるが、国とも連携しながらデジタル化にしっかりと取り組んでいく必要があると考える。

また、先程の一般質問の中にもありましたが、村営住宅の整備も非常に重要な課題で、将来の人口動態の傾向に沿って計画的な住宅整備が必要であると同時に、もう1点今日の新聞に出ていたが、山が急峻で、いわゆる土砂災害警戒区域のレッドゾーンにあるところは家を建てるのに難しい問題がたくさんあるので、将来的にこういった建て替えの

そうした中で、今後10年間の村づくりの進め方ですが、冒頭の挨拶で申し上げたように、令和7年、来年度から新たな10年間の村づくりの方向を示す第6次の総合計画を策定中です。来年度からは、この方針に基づいて具体的な村づくりの方針の10年間に向けて取り組んでいくこととなります。そのベースとなるのは、先程ありましたように、ネバーギブアップ宣言2・0の中にある、暮らし、仕事、挑戦、教育、交流の5つのキーワードがあり、その中で具体的に取り組み「根羽村で人生100年時代をより健やかに生きる」「繋がりがあふれる根羽村」「知りた」とやりたいを知り合える根羽村」「根羽村に暮らしみんなて学ぶ」「挑戦と応援が掛け合わさる根羽村」「生かし合い生き生きと働く根羽村」の6つの目標に向けて、住民の皆さんのニーズや社会情勢の変化に対応すべく、より有利な財源を確保しながら村民の皆さんが安全、安心で暮らせる村づくりを進めていく方針です。

また、先程あったように、大型事業であるケーブルテレビの光化事業は喫緊の課題になります。防災無線更新は一旦完了するが、ケーブルテレビの光化の事業については、来年度は補助金の補助申請の年、令和8年度に工事予定、これは大きな金額がかかると思うが、工実施の予定となっている。

た。新たにスタートする今後10年間の総合計画策定については、村民の意見、思いをしっかりと盛り込んでいただき、村民誰一人として取り残されることのない作りに取り組んでいただきたいと重ねてお願いしたい。また、単年度予算では、人口減少対策として以前お願いした若者定住対策の見直し、また、新たに育英資金の貸付型から条件付きの給付型等への見直しなどを今後お願いすることもあろうかと思う。また、里山、中山間地域が生き延びるために、今後もある提案をさせていただくと思うが、よろしく願います。

## 報告事項

◆令和6年度根羽村一般会計補正予算(第3号)の専決処分の承認について

◆森沢単身用住宅建設条例の専決処分の承認について

## 条例

◆根羽村営住宅使用料条例の一部を改正する条例の制定について

国の法律等の改正に伴い条例の改正がされました。



## 協 定

◆定住自立圏の形成に関する協定の一部変更の承認について  
飯田下伊那の市町村で形成する定住自立圏の協定について一部変更がされました。

## 補正予算

◆令和6年度根羽村一般会計補正予算(第4号)  
田島就業住宅改装工事費

1446万9千円等を追加し、総額23億9924万7千円余となりました。

◆令和6年度根羽村簡易水道事業会計補正予算(第3号)  
振込手数料等17万6千円を追加しました。

◆令和6年度根羽村下水道事業会計補正予算(第2号)  
振込手数料10万円を追加しました。

## 意見書

◆再審法改正の早期実現を求める意見書 — 採 択 —

## 12月臨時議会

12月19日に、第5回臨時議会が開催されました。内容については、次のとおりです。

## 条 例

◆根羽村議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

◆根羽村特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例

◆一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

国の法律等の改正に伴い条例の制定がされました。

## 補正予算

◆令和6年度根羽村一般会計補正予算(第5号)

条例改正による人件費1001万9千円を追加し、24億926万6千円余りとなりました。

## 人の動き

## 役場職員の異動

◇新規採用(1月1日付)

振興課 三好諭史

(大阪府 茨木市)

## 宝くじの助成金で整備しました

公益財団法人長野県市町村振興協会から宝くじ助成金により、火災時に使用する消防ホースを新たに50本整備しました。



## 消防団出初式

令和7年1月5日、根羽村消防団出初式が厳粛に挙行されました。今回の市中パレードは万場瀬地区根羽給油所付近から役場まで行い、根羽学園の少年少女消防クラブ員も消防団と同じ隊列に入行進しました。

その後、福祉センターしゃくなげで式典が行われ、各団員や昨年度退団された方に対して、表彰状と記念品が贈られました。また、南信州地域振興局長様、飯伊消防協会長様をはじめ多くの来賓の皆様にご臨席を賜り、盛大に開催できました。最後に「火の用



心三唱」を参加者全員で行い、今年1年の無火災の祈念とお互いの防火意識の高揚を図りました。

また長年にわたり根羽村消防団で消防活動に従事された佐々木邦敏本部長が今年度をもって退団される予定です。







## 令和7年申告相談のご案内

令和6年分所得の確定申告は2月17日（月）から3月17日（月）まで（土日は休みです）となっています。今年も感染症のリスク軽減・混雑緩和のため、又、期間内に適切な申告をしていただくために、下表のとおり、曜日ごとの申告相談日を定めましたので、お早目の申告をお願いします。

令和7年度分村県民税申告書には、住所、氏名、生年月日、配偶者等、必要事項を記入してください。

**※個人で営業、請負事業等をしている方、不動産収入や株取引等で所得のある方は必ず申告をして下さい。**

### 申告（納税）相談日程

### 場所：役場第3会議室

期 日	時 間	適 用
月曜日 2/17、3/3、3/10、3/17	午前9時～午後5時	中 央 地 区 及び指定日に 都合のつかない方
火曜日 2/18、2/25、3/4、3/11	//	西 洞 地 区
水曜日 2/19、3/5	//	東 洞 地 区 (黒地～向黒地)
水曜日 2/26、3/12	//	東 洞 地 区 (莩野～小戸名)
木曜日 2/20、3/6	//	北 洞 地 区 (高橋～横旗)
木曜日 2/27、3/13	//	北 洞 地 区 (中野～池の平)
金曜日 2/21、2/28、3/7、3/14	//	南 洞 地 区

◎感染症予防のため、マスク着用、会場入口等で手指消毒をお願いします。

◎混雑緩和を少なくするため、申告相談待ち時間状況を電話で確認していただければ、目安の来場時間をお伝えできます。(あくまでも目安であり、その時間の間に申告者が見えた場合はその方を優先しますので、お伝えした時間を予約することはできません。)

その他ご不明な点がございましたら、役場総務課までお問い合わせください。



## ◆確定申告が必要な方

区 分	概 要
<b>① 給与所得がある方</b>  大部分の方は、年末調整により所得税等が精算されるため、申告は不要です。 ※確定申告をする場合には、年末調整を受けた給与所得も含めて申告が必要です。	次の計算において残額があり、さらに(1)から(6)のいずれかに該当する <div> <div>各種の所得の合計額（譲渡所得や山林所得を含む。）から、所得控除を差し引いて、課税される所得金額を求めます。</div> <div>課税される所得金額に所得税の税率を乗じて、所得税額を求めます。</div> <div>所得税額から、配当控除額と年末調整の際に控除を受けた（特定増改築等）住宅借入金等特別控除額を差し引きます。</div> </div> (1) 給与の収入金額が 2,000 万円を超える (2) 給与を 1 か所から受けていて、かつ、その給与の全部が源泉徴収の対象となる場合において、各種の所得金額（給与所得、退職所得を除く。）の合計額が 20 万円を超える （例）給与を 1 か所から受けていて、公的年金等の収入金額が 80 万円（65 歳以上の方（昭和 33 年 1 月 1 日以前に生まれた方）は、130 万円）を超える場合 (3) 給与を 2 か所以上から受けていて、かつ、その給与の全部が源泉徴収の対象となる場合において、年末調整をされなかった給与の収入金額と、各種の所得金額（給与所得、退職所得を除く。）との合計額が 20 万円を超える ※ 給与所得の収入金額の合計額から、所得控除の合計額（雑損控除、医療費控除、寄附金控除及び基礎控除を除く。）を差し引いた残りの金額が 150 万円以下で、さらに各種の所得金額（給与所得、退職所得を除く。）の合計額が 20 万円以下の方は、申告は不要です。 (4) 同族会社の役員やその親族などで、その同族会社からの給与のほかに、貸付金の利子、店舗・工場などの賃貸料、機械・器具の使用料などの支払を受けた (5) 給与について、災害減免法により所得税等の源泉徴収税額の徴収猶予や還付を受けた (6) 在日の外国公館に勤務する方や家事使用人の方などで、給与の支払を受ける際に所得税等を源泉徴収されないこととなっている
<b>② 公的年金等の雑所得のみの方</b>	公的年金等の雑所得の金額から所得控除を差し引くと、残額がある ※ 確定申告不要制度は、手引きの4ページの【年金所得者に係る確定申告不要制度について】を参照してください。
<b>③ 退職所得がある方</b>	外国企業から受け取った退職金など、源泉徴収されないものがある ※ 退職金などの支払者に『退職所得の受給に関する申告書』を提出した場合、一般的に、退職所得に係る所得税等は源泉徴収により課税が済むこととなりますので、申告書の提出は不要です。ただし、退職所得のある方が確定申告書を提出する場合は、退職所得を含めて申告する必要があります。 なお、退職所得以外の所得がある方は、①又は④を参照してください。 ※ 退職所得の記入方法等は、手引きの 36 ページを参照してください。
<b>④ ①～③以外の方</b>	次の計算において残額がある <div> <div>各種の所得の合計額（譲渡所得や山林所得を含む。）から、所得控除を差し引いて、課税される所得金額を求めます。</div> <div>課税される所得金額に所得税の税率を乗じて、所得税額を求めます。</div> <div>所得税額から、配当控除額を差し引きます。</div> </div>
※ 上場株式等に係る譲渡損失と配当所得等との損益通算及び繰越控除の特例の適用を受けようとする方などは、①から④に当てはまらない方であっても確定申告が必要です。	

## ◆医療費控除の解説

## ◎医療費控除とは

本人または生計を一にする家族が、1 年間におおむね10万円以上の医療費を支払った時に受けられる控除です。（申告者の所得額により10万円以下の医療費でも控除が受けられる場合があります。）

## ◎控除の対象となるもの

- 医師・歯科医師に支払った診療費、治療費 ●治療、療養のために必要な医薬品の購入費
- 病院、診療所、助産所などへ支払った入院費など
- 治療のためのあんま、マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師に支払った施術費
- 在宅療養等の居宅サービス、介護保険サービス費用の医療費分
- 主治医の証明を受けた介護用おむつ費用 ●通院のために利用した電車やバスなど公共機関の交通費

## ◎控除の対象とならないもの

- 健康診断の費用（診断の結果、病気が見つかり治療に至った場合は対象となります）
- 診断書の作成費用 ●疾病予防、健康増進のための医薬品 ●予防接種の費用 等



## 所得の申告相談に持参するもの

- ※令和6年分村県民税申告書又は所得税の申告書（税務署より送付された方）及び農業所得の方は農業所得の収支計算書用紙
- ※印鑑（金融機関で使用している印鑑と口座番号のわかる通帳）

- ◆給与所得者、年金受給者
  - ※源泉徴収票、年金支払額証明書等
- ◆農業をしている方
  - ※農業所得資料（売上伝票、預金通帳 等）
  - ※農業所得の収支内訳書
- ◆営業、事業をしている方
  - ※売上、経費等収支のわかる帳簿、領収書等
- ◆その他控除に必要な証明書
  - ※社会保険料、生命保険、個人年金、建物共済等の支払額証明書、身体障害者手帳、医療費等の領収書、寄附金受領証明書等

## 飯田税務署での申告相談

- ※入場には、当日に会場配布又は国税庁LINE公式アカウントから事前に取得した入場整理券が必要です。電話での予約はできません。

**場 所：**飯田市 飯田税務署（飯田高羽合同庁舎）4 F 申告相談専用会場  
 （所在地：〒395-8646長野県飯田市高羽町6丁目1-5）

**開 設 日：**令和7年2月17日（月）～令和7年3月17日（月）まで  
 ※土、日・祝日を除く。

**相 談 受 付：**午前8時30分～午後4時まで  
 （提出は午後5時まで）

**相 談 開 始：**午前9時から

**お問い合わせ：**TEL：0265-22-1165  
 国税庁「確定申告特集ページ」：  
<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/shinkoku/tokushu/index.htm>



## 法テラス後援 司法書士による無料相談

借金の請求が届いたら  
放置しないで！

「昔の借金を請求された人の緊急相談会」

- 日 時** 令和7年3月1日（土）午前10時から午後4時まで
- 相談方法** 電話相談：TEL 0120-448-788（フリーダイヤル）  
 面談相談：長野県司法書士会館（長野市妻科399番地）  
 （必ず前日までにTEL 026-232-7492へ事前予約の上、お出かけください。）
- 相談料** 無料（簡易援助の場合は、相談者の方が2,200円の費用負担あり）
- 相談例**
  - ・昔借りた借金の請求が来たけど払わなければいけないのだろうか
  - ・借りた覚えのないところから借金の請求がきた 等
- 問い合わせ先** 長野県司法書士会 TEL 026-232-7492  
 法テラスながの TEL 0570-078327

自宅で! オフィスで!  
インターネットで簡単! 地方税を一括手続!

エルタックス  
**eLTAX**

地方税ポータルシステム



eLTAXキャラクター: エルレンジャー

① 付き納付書なら、  
地方税お支払サイトや  
スマホ決済アプリから  
地方税を簡単・便利に納付できます!

- スマホやパソコンでも納付できます。
- 24時間365日納付できます。(メンテナンス時間を除く)
- 地方税お支払サイトでは以下の納付方法が選べます。
  - ・クレジットカード
  - ・インターネットバンキング
  - ・ダイレクト納付(口座振替)(※)
  - (※) 事前にeLTAXの利用者登録/口座情報登録が必要です。
- スマホ決済アプリからも納付できます。
- ・各社の決済アプリで直接eL-QRを読み取ってください。

納付方法や対応するスマホ決済アプリなどについては  
地方税お支払サイトをご覧ください。

▶ <https://www.payment.eltax.lta.go.jp/>

地方税お支払サイト



都道府県・市区町村に

地方税に関する申告等を  
一括手続

市区町村に

給与支払報告書を  
一括提出

国(税務署)にも

源泉徴収票を  
一括提出  
eLTAXを利用して給与支払報告書を作成・提出する場合に限る。

選べる納付方法

クレジットカードでも  
納付可能  
① 付き納付書なら  
24時間365日納付可能

それぞれの都道府県・市区町村に行う必要がある地方税の手続(申告・申請・納付など)も、eLTAXを利用すれば  
複数の都道府県・市区町村に一括手続できます。地方税の手続は、ぜひ、簡単・便利なeLTAXをご利用ください。

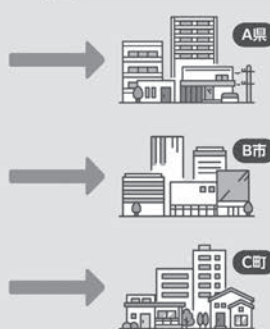
### 1 インターネットで手続



### 2 eLTAXで受付



### 3 都道府県・市区町村へ配信



詳しくはeLTAXホームページをご覧ください。

▶ <https://www.eltax.lta.go.jp/>  
スマートフォンからもご覧いただけます。(※)

(※) 利用届出等の手続、お問い合わせフォームやアンケートのご利用はできません。



eLTAXを利用するための準備や給与支払報告書の  
作成方法などは「動画コーナー」をご覧ください。

▶ <https://www.eltax.lta.go.jp/support/movie/>



エルタックス

ご利用に際してのご不明な点等は「よくあるご質問」を  
ご覧ください。

▶ <https://eltax.custhelp.com/>



**LTA** 地方税共同機構  
LOCAL TAX AGENCY

エルタックス  
**eLTAX**

eLTAXはインターネットを利用して地方税の手続(申告・申請・納付など)を  
行うことができる地方税のポータルシステムです。  
オフィスや自宅のパソコンから簡単・便利に地方税の手続ができます。



eLTAXキャラクター: エルレンジャー

## ご利用の流れ

- STEP 1** 利用届出  
eLTAXのホームページから  
利用届出(新規)を提出して  
ください。
- STEP 2** 利用者ID、暗証番号の取得  
利用者ID、暗証番号が発行され  
eLTAXにログインできるようになり  
ます。
- STEP 3** eLTAX対応ソフトウェアの取得  
地方税共同機構が提供するeLTAX対応ソフトウェアはPCdesk(ピーシーデスク)です。  
PCdeskは、eLTAXホームページから無償で取得できます。  
税務会計ソフトウェアを使用する場合は、「eLTAX対応」のものを使用してください。
- STEP 4** **A** 電子申告  
**B** 電子申請・届出  
**C** 電子納付

### A 電子申告

PCdeskなどのeLTAX対応ソフトウェアから申告書を作成・送信でき  
ます。複数の提出先へ電子申告する場合は、利用届出(変更)を行って  
提出先を追加します。

#### 利用可能な税目

- 法人都道府県民税 ■ 法人事業税 ■ 事業所税
- 特別法人事業税(地方法人特別税)
- 法人市町村民税 ■ 固定資産税(償却資産)
- 個人住民税(給与支払報告書等や特別徴収関連手続)

PCdesk Nextを利用する税目

- 地方たばこ税 ■ ゴルフ場利用税 ■ 入湯税 ■ 宿泊税
- 令和6年10月28日〜 ■ 軽油引取税
- 令和7年1月6日〜 ■ 固定資産税(知事・大臣配分資産、大規模償却資産)

### B 電子申請・届出

eLTAXで電子申告に関連した申請・届出を行うことができます。  
電子証明書があれば、利用者IDがなくても利用できます。  
ただし、代理人の場合は利用者IDが必要です。

#### 利用可能な手続

- 法人設立届出や異動届出等
- 申告手続に関連した申請・届出

### C 電子納付

PCdeskなどのeLTAX対応ソフトウェアから納付情報の発行  
依頼を行い、クレジットカード、ダイレクト納付(口座振替)、  
インターネットバンキング及びATMなどから税金を納付する  
ことができます。

#### 利用可能な手続

- 申告手続に関連した納付手続(※)
- (※) 固定資産税(償却資産)を除く

都道府県・市区町村ごとの提供サービスについては  
eLTAXホームページでご確認ください。

## 「給与支払報告書」「源泉徴収票」もeLTAXで簡単に作成・提出できます!

市区町村に提出する「給与支払報告書」をeLTAXで手続すれば  
国(税務署)に提出する「源泉徴収票」も同時に作成できます。  
あとは…eLTAXで一括提出!



令和6年度分から個人住民税特別徴収税額通知(納税義務者用)を電子データで受け取れます!

- 条件1 給与支払報告書をeLTAXを経由して提出していること
- 条件2 個々の納税義務者に電子的提供ができる体制が整っていること



## 司法書士による相続・登記等 無料法律相談のお知らせ

### 日時

令和7年3月8日（土）  
午後1時から午後3時

### 場所

福祉センター  
「しゃくなげ」和室

### 内容

不動産等の登記、相続・  
遺言に関するもの、空き

### 問い合わせ先

長野県司法書士会  
飯田支部  
TEL 0265-  
4918537

家に関するもの、高齢者・  
障害者等の財産管理や成  
年後見制度に関するもの  
等

## 司法書士による相続登記無料相談月間 「相続登記はお済みですか月間」

### 日時

令和7年2月3日（月）  
～2月28日（金）

### 相談例

・相続登記が義務化されて  
どう変わったの？  
・実家が相続登記をせずに  
空き家となっている  
・相続人の中に行方不明の  
人がいて遺産分割協議が  
できない  
・遺言について知りたい等

### 場所

県内の各司法書士事務所

### 予約

相談する司法書士事務所  
へ予約

### 問い合わせ先

長野県司法書士会  
TEL 026-  
23217492

## 不動産鑑定士無料相談会のお知らせ

不動産の売買、相続、交換、借地、担保、賃貸借等に係る評価事項について、不動産鑑定士が相談に応じます。

### 日時

令和7年4月2日（水）午前10時から午後4時

### 場所

飯田市役所 本庁舎3階 A 301・302 会議室

### 問い合わせ先

一般社団法人 長野県不動産鑑定士協会 TEL 026-225-5228

## 電源立地地域対策 交付金事業について

電源立地地域対策交付金は、電気の  
安定供給の確保が経済と私たちの生活  
にとって極めて重要であることから、  
発電用施設の設備や、住民の利便性向  
上及び産業の振興等を行う事業に対し  
国から交付されるものです。

村では通常保育のほかに、未満児保  
育や時間外延長保育・休日保育などの  
充実を図ることで、子育ての負担を軽  
減し、安心して子育てができる環境づ  
くりのために、電源立地地域対策交付  
金事業を活用しています。

## 令和7年度学生募集のお知らせ

## ―長野県シニア大学 南信州学部―

シニア大学では、学生を募集します。  
興味のある方は、どなたでも参加でき  
ますのでお気軽にご連絡ください。

### 一般コース

対象 おおむね50歳以上の  
県内在住者

会場 飯田合同庁舎3階  
講堂 他

定員 60名（先着順）

学習期間 2年間

授業料 年間1万2千円  
（教材費など別途負担有）

内容 教養講座、趣味健康交流講座、  
地域づくり講座

## 「電源立地交付金事業」 保育所運営事業

実施年度	事業名	交付金額
令和4年度	保育所 運営事業	4,400,000 円
令和5年度		4,400,000 円
令和6年度		4,400,000 円

### 募集期間

令和7年2月3日（月）～  
令和7年3月31日（月）

### 応募方法

願書を記入の上、役場又は飯田保健  
福祉事務所（合庁三階）にご持参く  
ださい。

### 願書提出先

〒395-0034

飯田市追手町2-678

飯田保健福祉事務所福祉課

### 問合せ先

シニア大学事務局

0265-5310464（直通）

詳しくは、長野県シニア大学  
<http://www.nicesenior.or.jp/daigaku/index/>

## 適正受診・適正服薬

多剤・重複服薬を見直そう！  
～ポリファーマシーに気をつけよう～

複数の病気にかかれば、病気の数だけお医者さんにかかり、処方される薬も多くなるため、たくさんの薬を服用することになります。ひとつの病気でも、複数のお医者さんにかかれば、同じ効能の薬を処方されて重複することになります。薬を減らすことで、体の負担も減らすことができ、医療費も減らせます。

## ポリファーマシーってなに？

高齢になると複数の病気をもつことが多くなるため、服用する薬が増えます。ポリファーマシーとは、多くの薬を服用することによっておこる副作用や有害事象（健康被害）を表す言葉です。服用している薬が6種類以上になると、副作用のリスクが高くなるといわれています。

処方薬は効き目が強いいため、重複することで逆に体調不良の原因になる可能性もあります。服用する薬が増えれば増えるほど副作用のリスクも高まります。

※ポリファーマシーによって、副作用・費用・救急外来受診率・入院期間・合併症率・転倒・骨折・死亡率が高まるため、服用する薬の数は「5種類以下を目指しましょう。まずは、お医者さんと薬剤師に相談をしよう。

## 多剤・重複服薬を防ぐために、今すぐはじめて欲しいこと

## ① かかりつけ医をもとう！（重複受診はしない！同じ病気で複数の医療機関を受診するのはやめましょう。）

病気になった時や体調の悪い時に相談できる身近なかかりつけ医を見つけよう。

普段の病歴・病状を把握しているため、その人に合わせた健康管理や保健指導をしてもらえます。

複数の医療機関にかかると、同じ効能の薬を複数処方（重複服薬）され、受診や処方薬にかかる医療費も増加するうえ、保険料の引き上げにつながることもあります。

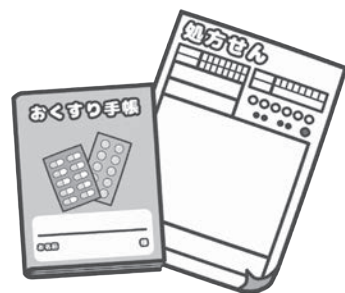
## ② かかりつけ薬局（薬剤師）をもとう！

薬剤師が薬歴や体質などを把握した上で、薬の使い方や重複処方をチェックしてくれます。

また、余った処方薬や外用薬（シップなど）はかかりつけ薬局へ持って行って相談しよう。

## ③ お薬手帳は1冊にまとめよう！

お薬手帳が何冊もあると、薬の情報が医師や薬剤師に正しく伝わりません。1冊にすることで、丸剤服用している薬の状況がわかり、薬の効能の重複や副作用が起きないようにチェックしてもらえます。





## リフィル処方箋とは？

リフィル処方箋は、症状が安定している患者さんについて、医師が長期処方が可能と判断した場合に、処方箋の「リフィル可」欄にレ点を記入して発行される処方箋で、最大3回までは診察を受けなくても同じ処方箋で薬を処方してもらうことができる処方箋です。

## リフィル処方箋の使い方

1 回目は、通常の処方箋と同様に処方された日から4日以内に薬局等で薬を受け取ります。その際に、リフィル処方箋（原本）の返却がありますので、なくさないように保管しましょう。（コピー不可）

2 回目以降は、リフィル処方箋に書かれた調剤予定日（薬剤師が処方箋に記入します。）の前後7日以内に薬局等で薬を受け取ります。医療機関の受診が不要となりますので、服用中に気になったことや症状の変化があれば、薬剤師に相談してください。薬剤師は医師と連携して、必要な場合は医療機関への受診を促します。

## リフィル処方箋の注意事項

- 投薬量に制限のある医薬品や湿布薬など一部のお薬はリフィル処方箋にできません。
- 反復利用できる回数は医師の判断によります。※最大3回まで
- リフィル処方箋を利用する場合は、1～3回目まで同じ薬局での処方が推奨されています。
- 保険調剤薬局の薬剤師は、患者の服薬状況などを確認し、リフィル処方箋による調剤が不適切と判断した場合は、調剤を行わないことがあります。
- リフィル処方箋を受け取っていても、気になる症状や体調変化がある場合には、医師の診察を受けることができます。
- 投薬量に制限のある医薬品や湿布薬など一部のお薬はリフィル処方箋にできません。
- 反復利用できる回数は医師の判断によります。※最大3回まで
- リフィル処方箋を利用する場合は、1～3回目まで同じ薬局での処方が推奨されています。
- 保険調剤薬局の薬剤師は、患者の服薬状況などを確認し、リフィル処方箋による調剤が不適切と判断した場合は、調剤を行わないことがあります。
- リフィル処方箋を受け取っていても、気になる症状や体調変化がある場合には、医師の診察を受けることができます。

## まだ、マイナ保険証をお持ちでなくても、 これまでどおりの医療を受けられます！

今年の12月2日に、現行の健康保険証は新たに発行されなくなり、マイナ保険証を基本とする仕組みに移行しました。切り替えがまだお済みでない方も申請不要で届けられる資格確認書で保険診療を受けることができますのでご安心ください。また、今お持ちの保険証は有効期限（多くの方が令和7年7月31日。70歳到達者や75歳到達の方はそれぞれの有効期限）まで利用できます。有効期限が切れる場合でも、必要な方には資格確認書が交付されます。

### ○マイナ保険証をお持ちでない方

申請不要で資格確認書をお届けします。

### ○新たに国民健康保険や後期高齢者医療保険の対象の方

申請不要で資格確認書をお届けします。※来年7月末まで

### ○マイナ保険証での受診が困難な方（ご高齢の方、障害をお持ちの方など）

申請いただくことで資格確認書をお届けします。

政府広報オンラインへ  
遷移する QR コード



診療履歴に基づいた、より良い医療が受けられるなど、便利で安全なマイナ保険証への切り替えをご検討ください。

※保険者が変わる場合（仕事を辞めた。仕事を始めた。）は、医療保険の資格が変更となる場合がありますので、会社及び市町村国保窓口にも必ず届出をしてください。

## 「医療費通知」のお知らせについて

国民健康保険及び後期高齢者医療保険については、特別な事情がある場合を除き、その前年に医療を受けた全ての被保険者に対し、国民健康保険は根羽村から、後期高齢者医療保険は長野県後期高齢者医療広域連合から『医療費通知』が送付されます。

この『医療費通知』は、確定申告に利用できます!! 大切に保管ください。

なお、今回の『医療費通知』に記載されている11月及び12月診療分については、前年の確定申告に必要である数値であるため、申告時は『医療費通知』に記載されている1月から10月分の合計のみの金額となります。

令和6年11月及び12月診療分については、医療機関等からの領収書を基に申告することになりますので、お間違えのないようご利用ください。

問い合わせ先

- 国保の方は根羽村役場 住民課 49-2111
- 長野県後期高齢者医療広域連合事務局  
業務課 給付係 保健事業担当 TEL 026-229-5320



11月29日、森沢に木造2階建て1棟8戸の単身用住宅が完成しました。  
室内は根羽スギをふんだんに利用しており、根羽スギの香りが漂うとともに木のぬくもりと広々とした空間を感じられます。  
入居希望者は役場振興課へお問合せください。

### 森沢単身用 住宅完成



ネバーランド東屋周辺の景観整備事業

森林は水や空気を育み、土砂災害や地球温暖化を抑制するなど様々な働きをもっています。  
そのような森林を健全な姿で次の世代に引き継ぐため、長野県では「長野県森林づくり県民税」（通称・森林税）が導入されています。  
森林税は、地域主体の里山整備活動の支援や、広く県民が利用する施設の木造・木質化、倒れやすい危険な木の伐採などに使われています。

### 長野県森林づくり 県民税が活用 されています



この度は御縁を頂き、根羽村にて引き続きお世話になることになりました。皆様のお役に立てるよう、尽力したいと思っております。  
家族4人共々、宜しくお願い致します。



振興課配属  
大阪府茨木市出身  
三好 さとし  
みよし 諭史

### 新規採用職員紹介



## 全国市町村教育委員会連合会表彰受賞

この度、片桐達司さん（荊野）が、全国市町村教育委員会連合会表彰を受賞されました。この表彰は、8年以上在職された教育委員さんを対象としています。

片桐さんは、平成19年10月に教育委員に就任し、令和5年9月まで、4期16年間、根羽村の教育の推進に尽力されました。その間、平成23年10月から平成27年9月までの4年間、教育委員長として、また、平成27年の新たな教育委員会制度後は、令和元年9月まで教育長職務代理者として務められました。

英語の低年齢での習得を推進し、ALT（外国語指導助手）を中学校のみならず、小学校や保育園でも英語を学習できる機会を設けるなど、語学学習の推進に尽力されました。また、義務教育学校制度の導入が決まると、平成31年2月より、義務教育学校設立準備委員会長に就任し、学校の組織、運営、新たな学校名や校章など、令和2年4月の開校に向けて尽力されました。

受賞おめでとうございます。



## 保育所クリスマス会

令和6年12月20日（金）に根羽村保育所でクリスマス会が行われました。

当日は保護者の皆さんや、来賓の皆さん、地域の皆さんなど大勢の方が見に来られ、いつもと違う雰囲気の中、子どもたちは緊張しながらも、堂々と発表をすることができました。

今回の合奏では、自分たちで育てた野菜を販売し、その売り上げで白いTシャツを購入し、草木染めをした衣装で発表しました。また楽器には拾ってきたドンブリや松ぼっくりを使ってマラカスを作り、自分たちで作った木の笛で演奏をしました。この日为目标として活動してきた子どもたちは、達成感も大きく、大満足で合奏をすることができました。

劇では「3匹のやぎのがらがらどん」を発表しました。劇の配役は話し合いで決め、役が決まると、家でもセリフや動きの練習をしていることを子どもたちから聞き、当日の意気込みを感じました。劇が始まると練習よりも大きな声でセリフを言い、橋に見立てた平均台も上手に渡ることができました。

全ての発表が終わると、おっちょこちょいのサンタさんから子どもたちにプレゼントが渡され、嬉しそうに受け取っていました。

今回のクリスマス会は、みんなが同じ目標に向かって取り組んできた活動の集大成となりました。

